

第8章 協力会社の評価

8. 1 評価事項

8. 1. 1 日常保全の場合

元方事業者や関係請負人は、仕事の一部を他の関係請負人に請け負わせる注文者として、労働者の危険及び健康障害を防止するための措置を講じることのできない事業者等、つまり労働災害を防止するための事業者責任を遂行することのできない事業者には仕事を請け負わせないこととされている。

請け負わせる事業者の新規または継続しての採用是非を判断する具体的な評価基準としては下記のような項目が考えられる。

まずは工事安全及び工事実績を評価し、次に、労働条件に関することは言うまでもなく法令に沿って遵守すべき基本的な事項を確認することが必要である。

また、請け負わせる予定の作業に必要な資格以外を含めた関係請負人の資格保有者や工事実務経験者や監督者の状況等を把握し、事業者としての工事遂行能力として評価し、これが工事安全確保につながることで評価すると良い。

(1) 安全管理状況、安全成績状況

- ① 事業所での過去の請負契約の工事・作業での安全管理や安全成績に問題がないこと
- ② 他の事業所又は、同業他社での安全管理や安全成績に問題がないこと
- ③ 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）、リスクアセスメント等の取組体制、活動状況

(2) 法令の遵守状況

- ① 安全衛生管理体制整備状況
(規模に応じ安衛法で定められた管理者の選任や委員会等の設置状況等)
- ② 安全衛生教育実施状況
(事業者として自らの労働者の教育責任を自覚や、実施状況等)
- ③ 健康診断の実施状況

(3) 作業・工事の遂行能力

- ① 作業・工事に必要な資格を保有している者
- ② 監督者の数、下請を含めた作業員の動員力、機動力
- ③ 下請、協力会社の統率力

8. 1. 2 SDM の場合

SDM の場合は前項に加え、作業間の連絡調整や指導等が適切に行われたい可能性のある過度の重層請負構造の改善を狙い、以下の規定がある。(建設元方指針)

- ① 単純労働の労務提供のみを行う事業者等に仕事の一部を請け負わせないこと
- ② 仕事の全部を一括して請け負わせないこと

8. 2 評価とフィードバック（インセンティブ等）

前項では、協力会社の評価の例について述べたが、化学会社の場合は爆発火災を含め事故災害の防止上、評価審査を経て採用した協力会社はできるだけ継続して採用し、専門性と安全性を常に高める仕組みが望まれる。

そのため、化学会社は協力会社が自ら考え改善に取り組む安全活動を促し、それに対する報奨制度（インセンティブ制度）を設けることも一つの方法である。

具体的には活動テーマの自主的な登録と完結報告制度での達成度の評価や、改善提案の件数目標達成の評価等を毎期毎に行い、安全成績も踏まえて報奨（一定の報奨金や契約金額の数%を戻す等を伴う報奨）すると達成感からの安全確保への意欲の継続と意識の向上に効果的である。（図8. 1、図8. 2）

一方では、安全規定や打合せ確認あるいは指導事項の不履行や災害の発生状況によっては、イエローカード、レッドカード等の発行により、一定期間の請負契約の停止等のペナルティを課して、是正を促している例もある。

改善・ファインプレー賞 提案用紙								チームリーダー
用紙を月初めより近くに置き、メモ程度にて記載。数件集まれば提出。当月末までに提出のこと！！								
班名 _____				氏名 _____				
月/日	改善提案	ファインプレー	提案内容	実施状況	経済効果	審査等級	区分	審査捺印
3/26	○		件名: エキゾチックターミナル点検用移動式渡り歩廊設置 エキゾチックターミナルの点検頂口へのアクセス時の潜在危険改善の為、 分解組立式渡り歩廊政策と作業手順の作成	済 予定	/千円	3級	①	
			件名: _____	済 予定	/千円			
			件名: _____	済 予定	/千円			
			件名: _____	済 予定	/千円			

★等級: ファインプレー賞:A級
改善提案: 部長賞1・2・3級、部長賞佳作、採用表彰外、不採用、保留、他部門

★区分: ①安全、②設備、③品質、④経費節減、⑤環境、⑥保全管理、⑦その他

★提案項目 「改善提案」が「ファインプレー」の何れに該当するか「○」印で記入

★件名: プラント/Tag/内容を表し簡潔な表現。1行以内で記載。 10件/一人・月で目標達成へ！！

図8. 1 改善提案書の例

SRA活動テーマ登録及び完結報告書

<p>1 サークル名 X X X 上 I サークル 10名</p>	<p>2 活動期間 (予定・実績) 予定: H22. 3. 1 ~ H22. 4. 15 実績: H22. 3. 1 ~ H22. 4. 10</p>	<p>3 支援者 職 氏 名 </p>	<p>4 取組みテーマ(今年2件目) エアファンクーラー(AFC)点検作業 (2件目)</p>		
10 活動スケジュール(予定 - 実績 -)					
実施項目	主担当	3月	4月	5月	程
①運路からエアファンクーラー点検口 アケル時の危険源のリストアップ	X X X X X X	-	-	-	-
②実地調査	X X	-	-	-	-
③移動式脱着型選り歩脚設備 作成、客先に提示した承	X X	-	-	-	-
④現場クワ、内作	X X X X X X	-	-	-	-
⑤移動式脱着型選り歩脚設備 取付、取外し手順書作成	X X	-	-	-	-
⑥現場取付確認	X X X X X X	-	-	-	-
⑦効果の確認	X X X	-	-	-	-

<p>5 テーマ選定の理由 エアファンクーラー(地上約15mに30基設置)の外観目視点検、タリスタップ等の作業は点検口から行なうが、 エアファンクーラーの熱交換器と通風筒は40~50cmの隙間がある。 点検口へのアクセス前に仮設足場設置して行なうが足場が間に合わない場合、通路手摺りの中継に乗り 熱交換器のベントノズルを掴んで通風筒から飛び移る事になる。万一、熱交換器上で滑ったり、降りた時は 開口部から墜落・転落する、高度の高い熱交換器に阻まれて火傷する等の問題を改善する必要があった。</p>	<p>6 活動の目的(理想とする姿) ①エアファンクーラーのメンテナンスから開口部を塞ぐことが困難であるため、点検者自らが組み立て られる移動式選り歩脚の設置を客先に促す。 ②足場の無い状態では点検作業は行わないことを遵守させる。 従来通り仮設足場を設置してから点検作業を行う。</p>	<p>7 活動の目的を達成するための具体的な方策 ①エアファンクーラー... 設置当初から点検口へのアクセスは危険作業になっていた。 安全作業を呼びかけても根本にある危険源を排除 しない限り墜落・転落の芽を摘み取る事が出来ない。判断し、本格的に改善を目指すこととした。 ②移動式脱着型選り歩脚の設置計画を早急に進める。 ③安全が確保されなければ作業してはならない。</p>	<p>8 活動途中での「C」「A」の方策 ①客先に現場説明した結果、移動式脱着型選り歩脚の製作を早急に進める様、回答を引き出した。 ②移動式脱着型選り歩脚設備の取付、取外し手順書の作成要請が客先から要請を受け作成した。</p>												
<p>9 活動のフォロー策 ①商品は1人でもハンドリングが出来る様に製作した。 ②部品は1人でハンドリングが出来ると製作した。</p>	<p>11 リスク低減結果 改善前のリスク 改善後のリスク</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>リスク内容の観点から</th> <th>リスク評価値</th> <th>対策内容のポイント</th> <th>リスク評価値</th> </tr> <tr> <td>①エアファンクーラーと通風筒の隙間から 漏れる。</td> <td style="text-align: center;">2 x 5 D</td> <td>①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 が回避される。</td> <td style="text-align: center;">2 x 1 A</td> </tr> <tr> <td>②熱交換器に身体接触し火傷する。</td> <td style="text-align: center;">2 x 4 C</td> <td>①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 選り歩脚を進行する事により熱交換器 との接触が回避される。</td> <td style="text-align: center;">2 x 1 A</td> </tr> </table>			リスク内容の観点から	リスク評価値	対策内容のポイント	リスク評価値	①エアファンクーラーと通風筒の隙間から 漏れる。	2 x 5 D	①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 が回避される。	2 x 1 A	②熱交換器に身体接触し火傷する。	2 x 4 C	①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 選り歩脚を進行する事により熱交換器 との接触が回避される。	2 x 1 A
リスク内容の観点から	リスク評価値	対策内容のポイント	リスク評価値												
①エアファンクーラーと通風筒の隙間から 漏れる。	2 x 5 D	①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 が回避される。	2 x 1 A												
②熱交換器に身体接触し火傷する。	2 x 4 C	①移動式脱着型選り歩脚設備の設置 選り歩脚を進行する事により熱交換器 との接触が回避される。	2 x 1 A												
<p>12 活動成果 ①エアファンクーラーは手摺りも無い、点検口のアクセスは仮設足場の設置で対応するが、足場が間に合わない場合、不安全 行動になってしまったため点検者自身が設置できる選り歩脚設備を設置した。</p>	<p>13 歯止め策 リダー及び監督者はサークル内に於ける危険源の抽出や意見を積極的に吸い上げて、スタッフを活用して改善を図る。 改善後の効果を他部署にも紹介する。</p>														

図 8. 2 改善提案登録兼報告書の例